

本研究は筆者が 2022 年度にゼミ活動として行った映画鑑賞において、「チャップリン作品には他の喜劇作品とは異なる特性を持つ」という仮説を立て、その特性を論証することで映画作品に対する知見を広げ、今後の映画鑑賞に役立てていくという目的のために行ったものである。2022 年度を通して鑑賞したチャップリン作品の中から 5 作品を研究対象とし、主に登場人物の社会的地位、作品制作当時の時代背景、ペーソスの概念の存在の有無、一般的喜劇から逸脱している点の 4 点に関して検討を行った。その結果、チャップリン作品が他の喜劇と比較して異質である要因として、主人公が「社会的集団から孤立した人間」であることが挙げられた。社会的地位という枠組みから外れた人間を主人公に据え、悲劇的な目に合う主人公を観客が笑う構図を作り上げることで作品を喜劇として成立させていることが、チャップリン作品の喜劇として異質な点であると筆者は結論づけた。